

文藻外語大学交換留学プログラム募集要項 (2022年春学期派遣)

【注意事項】現在、新型コロナウイルス感染症の影響で全世界にレベル2以上の感染症危険情報が発出されています。コロナ禍における交換留学の進め方については、本学ホームページ>国際交流・留学>在学生の方へ>現在募集中のプログラムを確認してください。

【文藻外語大学について】

1966年設立。台北から高速鉄道（台湾新幹線）で1時間半の高雄市にあります。学部生9,193名、大学院生178名（2015年11月現在）が在籍するカトリック系の私立大学です。2016年3月、文藻外語大学と大学間交流協定を締結し、これにより文藻外語大学との交換留学を開始することとなりました。学内機関として英語・国際教育学院、ヨーロッパ・アジア語文学院（日本語系）などがあります。高雄市は地下鉄やバスなどの交通機関が発達しており、大学周辺には飲食店や薬局、病院などもあり便利です。

【プログラム概要】

派遣先：文藻外語大学（台湾・高雄市）

派遣期間及び時期：半年：2022年2月下旬～2022年6月下旬

1年：2022年2月下旬～2023年1月下旬

※渡航後の派遣期間の変更は原則できません。

派遣人数：全学で3名以内

派遣対象：① 全学部・全研究科

② 一定以上の中国語または英語能力を持つ学生

③ 交換留学生として意欲や自覚のある学生

【応募・選考スケジュール】

応募締切：2021年10月14日（木）17時まで

応募書類・方法：①所定の申請書（写真添付）②成績証明書③誓約書

上記3点の書類を応募期間内に 学生課国際交流係（滝子キャンパス3号館1階） に提出すること。

※申請書は大学ホームページまたは学務情報システムよりダウンロードできます。

（大学HP トップページ：国際交流・留学→在学生の方へ→現在募集中のプログラム）

選考基準：語学力、学業成績、交換留学生としての自覚や人格

（現地での交流活動にも積極的に取り組む行動力と積極性など）

選考・申請手続きのスケジュール：応募締切終了後に、学内面接にて候補生を選考します。

・学内面接：10月22日（金）（面接場所・時間については別途、メールでお知らせします。）

・申請書類作成：候補生に選ばれた学生は、速やかに文藻外語大学の申込用紙および諸手続きの書類を準備し、指定された期日までに学生課国際交流係まで提出すること。

【費用・および現地の滞在先等】

- (1) 授業料：文藻外語大学の授業料は免除（ただし、本学へは授業料を納入すること）
- (2) 渡航費：本学後援会より奨学金が支給される予定です（上限 15 万円）。
- (3) その他の費用（滞在費、保険料、ビザ申請料など）：自己負担となります。
- (4) 滞在先：留学生宿舎もありますが、民間アパートで居住することも可能です。

学生寮 12,000 台湾ドル（1 セメスター）

達亜国際アパート 5,600 台湾ドル～7,600 台湾ドル（1 か月）

※1 台湾ドル＝約 4 円

【単位・学籍】

履修可能な科目：（一定の中国語能力がある場合）本学での所属学部を問わず、一部の科目を除き、どの学部の授業でも履修することができます。

※ただし、帰国後の単位認定は本学の各学部・研究科によって行われるため、本学で単位認定できない科目もあるので事前に相談すること。

単位認定：派遣先で修得した単位の認定については、各学部の定める手続き・規定に従うものとします。

学籍：学籍状態は「在学」となります。派遣期間は本学での在学期間に参入されます。

派遣先で修得した単位は必ず認定されるとは限りません。卒業や進級に関わる場合もあるため、留学期間も含めた履修計画について、あらかじめ指導教員や各所属の教務担当者によく相談した上、応募してください。

【注意事項】

- ◆ 交換留学生として派遣される学生は、名古屋市立大学危機管理対応マニュアルに則り、万が一の事故に備えて、派遣前に緊急連絡先等の詳細を各学部の教務担当窓口へ提出してもらうほか、滞在中の危機管理等について説明を行います。
- ◆ 帰国後、報告書の提出や国際交流センター主催の留学フェアへの参加等のご協力をお願いします。

【お問い合わせ】

学生課国際交流係・国際交流センター（滝子キャンパス 3 号館 1 階）

TEL: [052-872-5163](tel:052-872-5163) Email: ryugaku@sec.nagoya-cu.ac.jp